



和気町
まち・ひと・しごと創生
総合戦略

【2026▶▶▶2030】



目次

I	まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的考え方	
1	総合戦略策定の背景	1
2	総合戦略の位置づけ	1
II	第2期総合戦略に基づくこれまでの展開	
1	第2期総合戦略の概要と総括	3
2	近年の人口推移の分析	7
3	人口の将来展望	10
III	第3期総合戦略	
1	目指すまちの姿	13
2	戦略目標	14
VI	資料編	
1	設置要綱	35
2	委員会名簿	36
3	KPIの算定式等	37
4	総合計画との整合表	42



I

まち・ひと・しごと創生総合戦略 の基本的考え方

1 総合戦略策定の背景

2014年(平成26年)に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、地方創生の取組が始動し、和気町(以下、「本町」という)においても、2015年(平成27年)3月に「和気町人口ビジョン」並びに「和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

その後、2019年(令和元年)に国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の改訂に合わせて、2020年(令和2年)に、第2次和気町総合計画に内包する形式で、総合戦略を策定しました。

こうした中、国は2025年(令和7年)6月に、「地方創生2.0」の基本構想を閣議決定し、新たな地方創生の仕組みづくりを進めています。

引き続き、地域における地方創生の取組を推進し、地方創生を確かなものとするため、前計画の見直しを行い、2026年度(令和8年度)を初年度とする「第3期和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「本計画」という)を策定します。

2 総合戦略の位置づけ

(1)総合戦略の位置づけ

総合戦略は、国や岡山県が定める総合戦略の基本的な考え方や政策の方向性をもとに、本町の特徴を勘案して計画を推進します。また、「総合計画」との整合と有機的な連携を図り、重点的に取組を推進するアクションプランとして総合戦略を位置づけます。

(2)計画期間

本計画の計画期間は、2026年度(令和8年度)から2030年度(令和12年度)までの5箇年とします。なお、総合戦略に掲げた施策の効果を検証した上で、計画期間中であっても必要に応じて、施策の見直しや改訂ができるものとします。

2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度 (令和12年度)	2031年度 (令和13年度)	2032年度 (令和14年度)	2033年度 (令和15年度)	2034年度 (令和16年度)	2035年度 (令和17年度)
和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (本計画)									
評価・検証					次期計画				



Ⅱ

第2期総合戦略に基づくこれまでの展開

1 第2期総合戦略の概要と総括

(1) 第2期総合戦略の総括

前計画で策定した取組・施策の進捗状況と効果、生じている課題を以下にまとめます。
また、「戦略目標」及び「基本的な方向」ごとに評価を行い、検討課題を整理します。

戦略目標1 安全・安心でのびのびと心豊かに暮らせるまちを創る

《数値目標》

No.	項目	単位	基準値 2020年 (令和2年)	現状 2025年(令和7年) (見込み)	目標 2025年 (令和7年)
①	社会増減	人	▲44	▲17	50
②	「わがまちハザードマップ」 作成地区数	地区	3	3	52

<具体的な施策>

- ・住民のいのちと暮らしを守る非常時危機管理体制の充実・防疫体制の充実強化
- ・防災・減災対策の充実強化
- ・防犯・交通安全対策の推進、暮らしを守る消費者保護対策の充実
- ・暮らしの安全を支える消防・救急体制の充実
- ・ため池・急傾斜地崩壊対策の推進
- ・生涯学習活動の推進、スポーツの振興、歴史的文化資源の保存・活用
- ・健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進、介護予防・介護サービスの充実
- ・多様な担い手による協働のまちづくりの推進
- ・安全・安心な道路環境の維持・整備とインフラの長寿命化
- ・地域を結ぶ公共交通ネットワークの維持・充実

《課題・今後の方向性》

- 住民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、「自助」「共助」を後押しするよう、行政として取り組んでいく必要があります。
- 交通安全対策としても高齢ドライバーが増える中、交通安全対策として、法令講習会などで交通ルールの周知、交通安全の徹底を図っていく必要があります。
- 学びを求めるすべての住民の意欲を高め、自己の成長を促し、より豊かな人生を送る一助となるよう講座の充実を図り体制を強化していきます。また、高齢化に伴い出前講座事業のニーズが増えることを視野に入れて拡充にも努めます。
- 社会の変化に対応しながら社会教育施設を軸に、様々な形で機会を創出していく必要があります。
- 疾病の早期発見・早期治療のための体制整備において、今後も医療機関と連携し、特定健診やがん検診の利便性を向上させるための体制整備が求められます。
- 地域の担い手の育成及び確保を進め、持続可能な自立運営の体制を築くことが求められます。
- 町営バスについては、利用者の少ない路線・便など廃止・減便等も視野に入れ、事業のスリム化の検討が必要です。

戦略目標2 つながり築き、次代を担う若者を集める

《数値目標》

No.	項目	単位	基準値 2020年 (令和2年)	現状 2025年(令和7年) (見込み)	目標 2025年 (令和7年)
①	社会増減(再掲)	人	▲44	▲17	50
②	出生者数	人	54	47	63
③	若い世代の人口 (20~39歳)	人	2,243	1,970人	2,350

<具体的な施策>

- ・移住・定住者用住宅用地と住宅の整備
- ・安心して暮らせる居住環境の形成
- ・地域資源を生かした観光の振興
- ・スポーツを核とした交流の推進
- ・ふるさと応援寄附金の推進
- ・若者世代の移住・定住促進、タウンプロモーションの推進

《課題・今後の方向性》

- 和気鵜飼谷温泉を観光の拠点とし、和気アルプス、片鉄ロマン街道、わけまるパークなどの観光資源の活用と相互の連携に努めます。
- 本町の地域特性を踏まえ、昨今人気となっている山登り、トレイルランニングなどについて調査研究を行い、本町でのスポーツツーリズムを推進します。
- 地方の貴重な財源となっているふるさと納税制度は、税法上の優遇措置があり、寄附者にとっても有利な制度となっているため、引き続き特産品や地元企業などの魅力的な商品のPRを行うとともに効率的な運営に取り組みます。
- 都市在住の子育て世代の移住相談者が望む「賃貸の一軒家の不足」により、移住候補地として本町を選ばない傾向が見受けられるため、住宅対策に関する施策の継続と強化に取り組みます。
- 若い世代が地域に関わる仕組みや、関係人口創出に向けた取組を推進し、「都会に出た若者がいつか帰ってきたいと思う町」、「今いる若者が住み続けたいと思う町」となるように「若者を主役とした」まちづくりに関する施策の継続と強化に取り組みます。

戦略目標3 地域ぐるみでこどもと子育てを応援するまちを創る

《数値目標》

No.	項目	単位	基準値 2020年 (令和2年)	現状 2025年(令和7年) (見込み)	目標 2025年 (令和7年)
①	合計特殊出生率	人	1.45	1.03(R5)	1.80
②	出生者数(再掲)	人	54	47	63

<具体的な施策>

- ・こども・家庭への切れ目のない支援の充実・地域連携による子育て支援の充実(経済的負担の軽減、子育て世代包括支援センターの整備、住民ボランティアやNPO法人の連携等)
- ・学校教育の充実、郷土愛の醸成(姉妹都市等との遠隔交流、地域人材の活用等)
- ・次世代を見据えた教育環境の充実(少人数学級編成による質の高い教育環境づくり等)

《課題・今後の方向性》

- 学ぶ力の育成や、グローバル人材の育成に引き続き取り組むことに加え、だれ一人取り残されない学びの実現に向け、多様な教育ニーズを支援するとともに、こどもたちが積極的・主体的に学びに取り組む仕組みをつくります。
- 学校を取り巻く環境が多様化・複雑化している中で、学校の教育力を高めるためには学校の組織力や教職員の指導力を高めていきます。
- 学校施設や社会教育施設についても今後の在り方を含め、老朽化対策を講じます。
- こどもに関する手続きや相談は多岐にわたるため、ワンストップでサポートできるように、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を備えたこどもまんなか支援室を設置しました。妊娠期から就学まで、だれ一人取り残さない支援を目指して引き続き事業を実施します。
- 多様な家庭ニーズに応じた子育て支援施策の充実と、地域資源を活用した遊び場の整備を進め、子育てしやすい環境を整えます。

戦略目標4 「つくる暮らし」を応援するまちを創る

《数値目標》

No.	項目	単位	基準値 2020年 (令和2年)	現状 2025年(令和7 年)(見込み)	目標 2025年 (令和7年)
①	企業立地件数(累計)	件	1	2	3 (2021年(令和3年) ~2025年(令和7年))
②	町の支援による創業 件数(累計)	件	3	20	25 (2021年(令和3年) ~2025年(令和7年))
③	新規就農者数	人	4	3	7

<具体的な施策>

- ・農業の振興(もうかる農業を目指す環境づくり等)
- ・起業・創業支援・企業立地の推進(廃校を活用した創業支援施設の整備等)
- ・中小企業・小規模事業者の振興(ものづくりの振興等)
- ・里山林の利活用と保全の推進

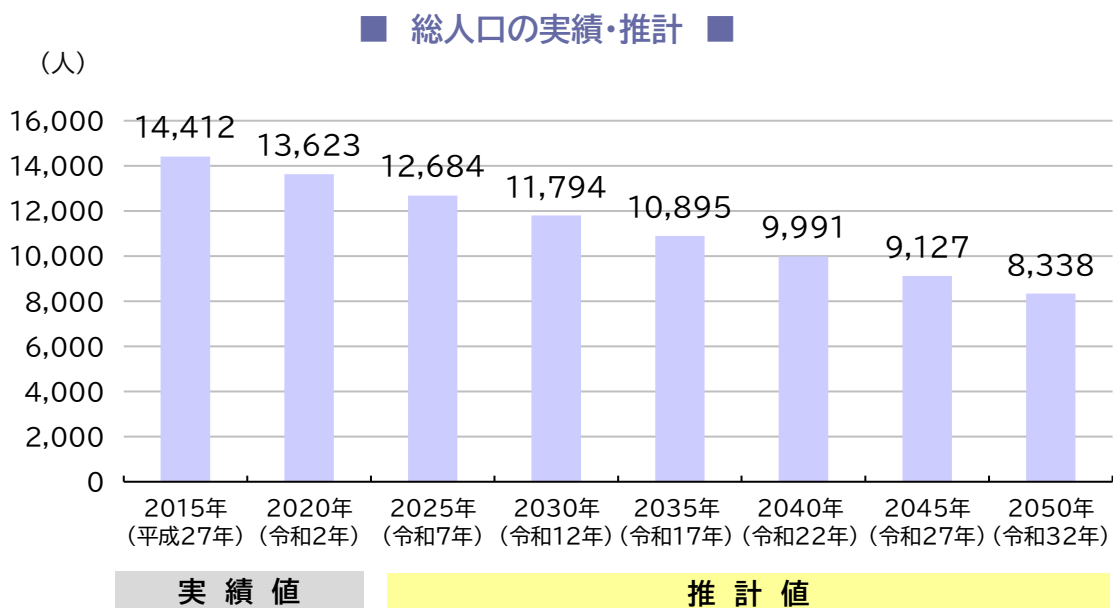
《課題・今後の方向性》

- 農業者数に関しては、新規就農希望者に対する実務研修や経営開始資金制度等の支援、認定農業者には近代化資金利子補給等の支援を通じ、就農者の確保に努めます。
- 耕作放棄地の解消には課題も山積しており、後継者不在の地域や、有害鳥獣による被害も多く耕作放棄に直結している現状が見受けられており、有害鳥獣対策に加え、新規就農者の獲得や認定農業者による規模拡大などの支援に努めます。
- 創業支援においては、近年は和気商工会との連携も強化されたこともあり、創業件数は増加傾向にあるため、支援の充実に努めます。
- 人口減少による商圈の縮小が進んでいるため、移住促進と絡めた、若者に魅力ある取組、支援を行っていく必要があります。
- 中小企業・小規模事業者の振興に向けて、引き続き和気商工会や地域金融機関との連携を強化し、設備投資支援についても強化していきます。
- 適切な森林管理に向けて、森林環境譲与税の財源も活用しながら、管理されていない森林については市町村が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなげていきます。また、木質バイオマスの活用についても継続して検討していきます。

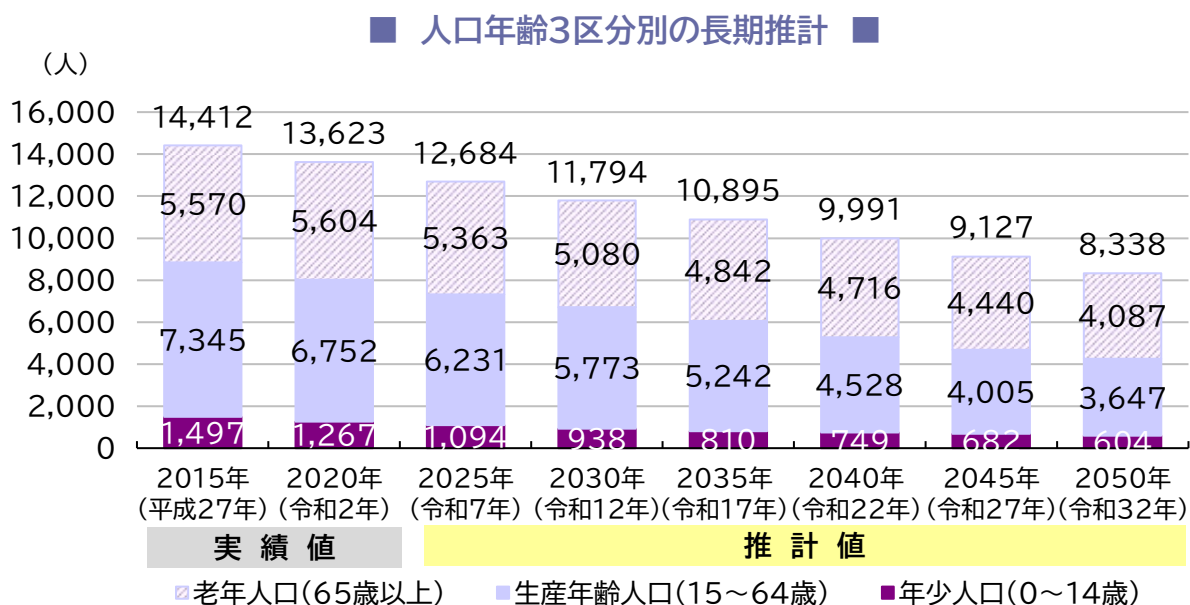
2 近年の人口推移の分析

(1) 総人口及び年齢3区分別の推移と将来推計

総人口は、2015年(平成27年)の14,412人から減少傾向で推移し、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という)の推計によると、2050年(令和32年)には8,338人まで減少すると見込まれており、2015年(平成27年)と比較すると、約58%となります。



資料:実績値 総務省「国勢調査」
推計値 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2023年(令和5年))」



資料:実績値 「国勢調査」、推計値 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2023年(令和5年)推計)」

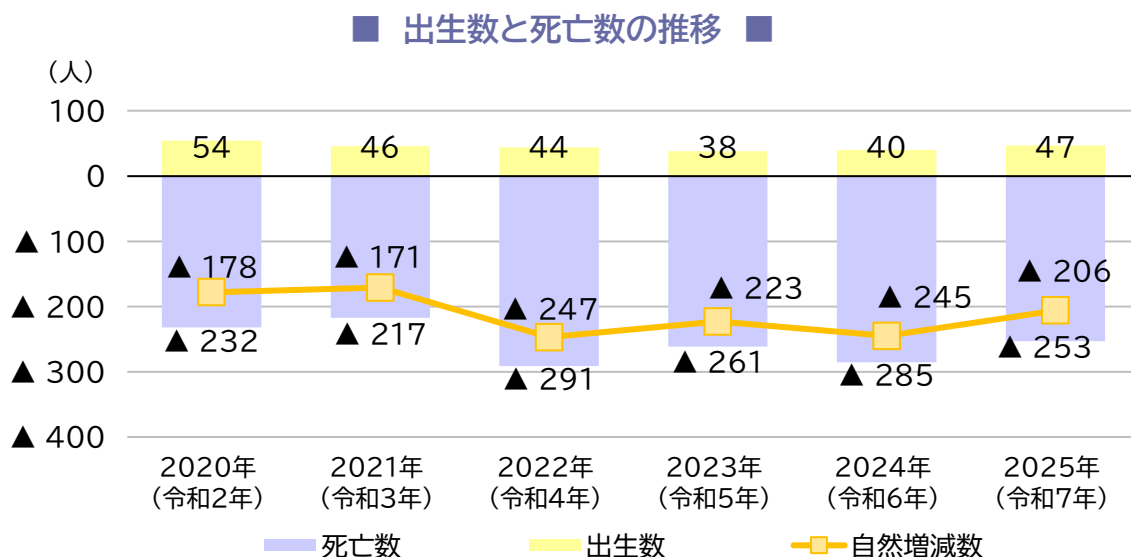
(注1)人口の実績値は、年齢不詳があるため総人口と年齢3区分別人口の合計は一致しない。

人口の推計値は、少数点以下を四捨五入して表示しているため、総人口と年齢3区分別人口の合計が一致しない場合がある。

(2) 出生数・死亡数の推移

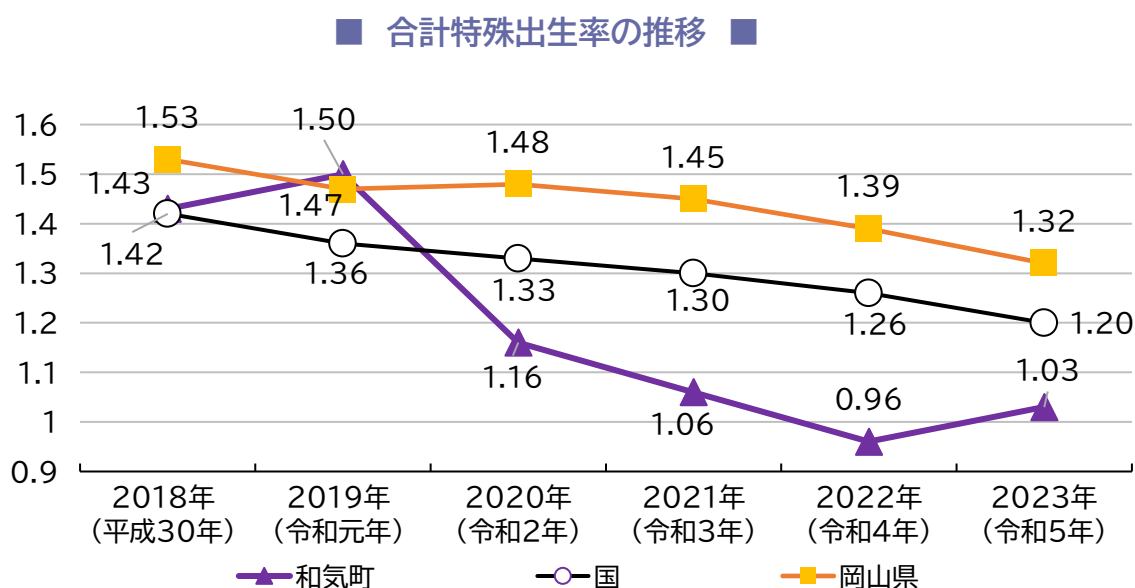
死亡数が出生数を大きく上回る「自然減」が常態化しており、2022年(令和4年)には自然減が247人に達しています。

出生数は2020年(令和2年)の54人から2025年(令和7年)には47人となり、ほぼ横ばいとなっています。



(3) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率は、2019年(令和元年)に1.50と全国を上回る年もあった一方で、2020年(令和2年)以降は減少し、2022年(令和4年)には0.96と全国平均(1.26)を大きく下回る水準となっていますが、2023年(令和5年)には1.03まで微増しています。

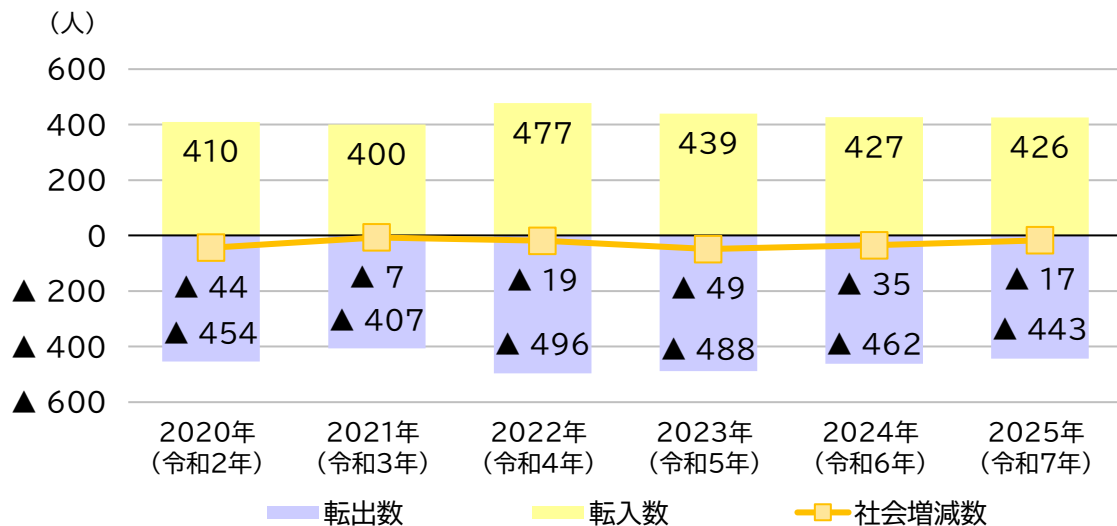


(4) 転入者数・転出者数の推移

2020年(令和2年)以降、毎年転出者数が転入者数を上回る「社会減」が続いており、毎年の転出超過となっています。

年齢別の転入者・転出者をみると、20代の転出超過が続いています。

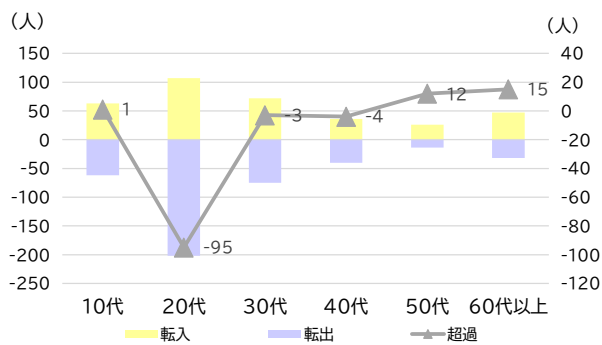
■ 転入数と転出数の推移 ■



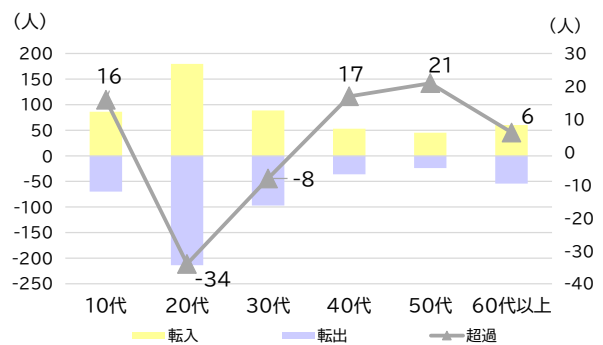
資料:住民基本台帳

■ 年齢別にみる転入数と転出数の推移 ■

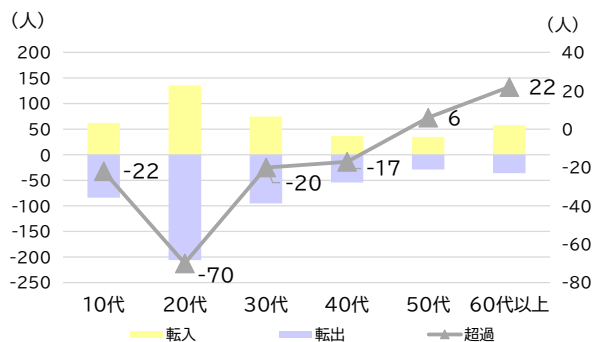
【2021年(令和3年)】



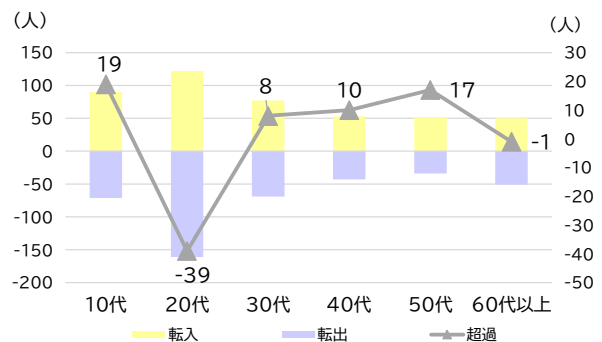
【2022年(令和4年)】



【2023年(令和5年)】



【2024年(令和6年)】



資料:住民基本台帳

3 人口の将来展望

■ 2030年(令和12年)の目標人口

12,000人

人口ビジョンに基づき、第2次和気町総合計画(基本構想)の計画最終年度となる2030年(令和12年)における本町の人口は12,000人を目標として設定します。

国立社会保障・人口問題研究所の推計結果から、本町の人口は、5年後の2030年(令和12年)には11,794人まで減少するものと予測されています。

総合計画を推進することによって、人口減少の速度を抑制し、推計値より約200人多い、12,000人を目標値とするものです。



Ⅲ

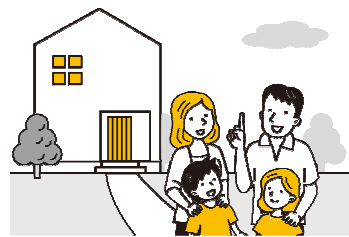
第3期総合戦略

1 目指すまちの姿

第2次和気町総合計画に掲げる本町の「将来像」と「未来の姿」を踏まえ、本計画において、「目指すまちの姿」を以下のとおり定めます。

■ 目指すまちの姿

「すべての世代が希望を持ち、安心して暮らし続けられる、持続可能なまちを創る」

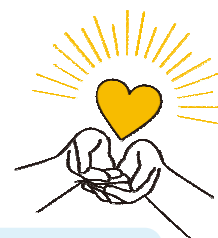


2 戦略目標

本総合戦略の戦略目標を次のとおり設定します。

戦略目標 1

安全・安心でのびのびと心豊かに 暮らせるまちを創る



【基本的方向】

- すべての住民が安全・安心で利便性の高い暮らしができる、だれもが住み続けたいと思えるまちを目指します。
- 人口減少が進む中でも、住民が将来にわたって安心・快適に暮らし続けることができるよう、商業や交通などの都市機能と日常生活サービス機能の維持に努めます。
- 住民が心身ともに健康で、高齢期になってもおだやかで心豊かに生活ができるよう、生涯学習活動の推進や健康寿命の延伸等に取り組み、生涯現役の社会づくりを推進します。

戦略目標 2

こども・若者・子育て世代が希望を持ち、 住み続けられるまちを創る



【基本的方向】

- 妊娠期から子育て期まで不安や不便を感じることなく子育てを楽しんで行えるよう、切れ目のない子育て支援の充実を図ります。
- 本町を子育て世代から選ばれるまちにするため、地域社会全体で子育てをサポートする体制を構築し、子育てに対する不安や障害を解消する環境づくりを行います。
- こどもたちが自らの将来の目標を持ち、必要なときに必要なサポートが得られるよう、学校教育の充実を図ります。
- 生まれ育った地域への理解を深め、ふるさとの愛着と誇りを育み、愛郷心に満ちた次代のまちづくりの担い手の育成を図ります。

戦略目標 3

和気町に住みたい人・関わる人を増やす



【基本的方向】

- 将来にわたって持続可能な地域を実現するため、若い世代を中心とした移住・定住の促進と、多様な形で町に関わる関係人口の拡大に取り組みます。
- 本町の安全・安心で快適な生活環境や、教育・子育て環境の魅力を積極的に情報発信し、都市部からの移住を促進します。
- 農山村体験や地域留学、観光、移住者交流などを通じて、多様な世代が継続的に町と関わる仕組みをつくり、地域とのつながりを深めることで、将来的な移住や地域の担い手の確保につなげます。
- 公営住宅や空き家などの住環境を整備し、移住定住促進施策により、定住人口の増加を促進させます。

戦略目標 4

「つくる暮らし」を応援するまちを創る



【基本的方向】

- 交通の利便性や自然災害リスクの低さなど、本町の強みを生かし、優良企業の誘致や地元企業との連携を進め、地域内での多様な働く場の確保を図ります。
- 創業支援や農林業の成長産業化、新たなサービスや商品開発などを後押しすることで、地域に根ざした仕事づくりを推進します。
- 地域資源を生かした高付加価値農業の展開や、新たな担い手の育成を通じて、持続可能な産業の基盤を強化します。
- 人口減少や経済環境の変化に対応するため、町内事業者の経営力向上やデジタル化などの取組を支援し、地域経済の活力を高めます。

安全・安心でのびのびと 心豊かに暮らせるまちを創る

基本的方向

- すべての住民のいのちと暮らしを守り抜くことを最優先にしながら、安全・安心で利便性の高い暮らしができる、だれもが住み続けたいと思えるまちを目指します。住民のいのちを守る防災・危機管理対策をはじめ、安寧な暮らしを守る防犯対策や特殊詐欺などの消費者保護対策等に取り組み、安全・安心な生活を全力で守ります。
- 人口減少が進む中でも、住民が将来にわたって安心・快適に暮らし続けることができるよう、商業や交通などの都市機能と日常生活サービス機能の維持に努めます。
- 住民が心身ともに健康で、高齢期になってもおだやかで心豊かに生活ができるよう、生涯学習活動の推進や健康寿命の延伸等に取り組み、生涯現役の社会づくりを推進します。

【数値目標】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
社会動態数	人	▲17	50
防災訓練への参加世帯の割合	%	19.0	25.0



—— 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI) ——

(1) 住民のいのちと暮らしを守る非常時危機管理体制の充実・防疫体制の充実強化

災害や感染症などの危機に対し、迅速・的確に対処できるよう、医療・防災体制を強化します。

【主な取組】

- ① 非常時を想定した危機管理体制の充実強化
- ② 危機管理意識の向上
- ③ 役場における危機管理対策
- ④ 新たな感染症に対する対策

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
非常時危機管理訓練開催回数	回	1	1

(2) 防災・減災対策の強化

住民、地域、本町が相互に連携し、自助・共助・公助による地域の防災力、減災力を強化します。

【主な取組】

- ① 自主防災組織への活動支援
- ② 住民の防災意識高揚のための啓発
- ③ 避難所の資機材の整備及び防災拠点施設・敷地整備

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
防災訓練への参加世帯の割合	%	19.0	25.0
自主防災組織防災訓練開催地区数	地区	0	10
地区防災計画整備地区数	地区	1	10

(3) 防犯・交通安全対策の推進

防犯、交通安全対策を地域とともに進め、犯罪や交通事故に遭う住民が少なく、安心した生活を送るための環境を整備します。

【主な取組】

- ① 防犯施設の充実
- ② 消費者の生活を守る
- ③ 交通安全の推進

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
刑法犯認知件数	件	25 (2024年(令和6年))	20
交通事故発生件数(人身、死亡)	件	15 (2024年(令和6年))	10

(4) 暮らしを守る消費者保護対策の充実

振り込め詐欺等の特殊詐欺をはじめとした様々な消費者問題について、啓発活動や適切な相談窓口対応の充実を図ります。

【主な取組】

- ① 住民を詐欺等から守る
- ② 消費者知識の普及啓発
- ③ 消費生活相談の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
消費に関わる出前講座の開催回数	回	1	1

(5) 暮らしの安全を支える消防・救急体制の充実

常備消防や地元消防団と連携し、地域の防火対策や救急搬送体制を強化し、日常生活における身近な安心や安全を確保します。

【主な取組】

- ① 常備消防の充実強化
- ② 非常備消防(消防団)の充実
- ③ 防災士の資格取得補助
- ④ AEDの設置や救命法の普及
- ⑤ 火災予防のための周知・啓発

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
消防団員数(条例定数700人)	人	581	600
火災発生件数	件	23	0

(6) 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

住民の健康意識を高め、心身の健康づくりや生活習慣の改善に取り組み、赤ちゃんから高齢者までのすべての世代が健康ではつらつとした暮らしを目指します。

【主な取組】

- ① 疾病の早期発見・早期治療のための体制整備 ② 生涯にわたる心身の健康づくり

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
特定健診受診率	%	41.0	47.0
特定健診受診者中のBMI25以上の者の割合	%	町男性 31.8 県男性 33.8 町女性 27.8 県女性 21.9	県平均と同等もしくは県平均以下
高齢者で自身が健康と感じている人の割合(3年ごとの調査)	%	78.6	83.0

(7) 介護予防・介護サービスの充実

生きがいを感じながら健康で自立した生活を送ることができるようサービス環境を整備します。また、介護が必要な状態になっても、必要なサービスを選択し住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援を充実させます。

【主な取組】

- ① 地域包括ケアシステムの深化・推進 ② 介護予防・健康づくりの推進
③ 高齢者福祉と介護保険事業の計画的な運営 ④ 人材の育成・確保

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
和気町と全国平均の要介護認定率比較	%	▲3.0	▲3.5
高齢者で自身が健康と感じている人の割合(3年ごとの調査)(再掲)	%	78.6	83.0

(8) 多様な担い手による協働のまちづくりの推進

若者の参加などによる協働のまちづくり活動の活性化を図ります。

【主な取組】

- ① 住民主体による新しいまちづくり
- ② まちづくりの担い手の育成
- ③ まちづくり・地域共生社会に係る情報の積極的な発信
- ④ 協働のまちづくりに係る研修会や実践講座の開催

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
協働のまちづくり提案事業 応募件数(若者枠拡充)	件	2 (2024年(令和6年))	6
ボランティア活動参加人数 (行政関係:保険対象者)	人	1,500	2,000

(9) 安全・安心な道路環境の維持・整備とインフラの長寿命化

大規模災害にも対応し得る、安全で強靱な道路環境の維持・整備をします。

【主な取組】

- ① 国・県道整備事業の推進
- ② 町道環境整備事業の推進
- ③ 橋梁点検事業・修繕事業の実施
- ④ 中山間地域総合整備事業の推進
- ⑤ 道路舗装の長寿命化事業の検討・実施
- ⑥ ため池の整備
- ⑦ 治山えん堤の設置
- ⑧ 急傾斜地の対策
- ⑨ 河川浚渫工事の実施

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
町道整備事業の改良率	%	41.6 (2024年(令和6年))	42.0
急傾斜地対策工事実施箇所数 (県営事業)(累計)	箇所	1	2
ため池全面改修工事実施箇所数 (累計)	箇所	3	5

(10) 適正で合理的な土地利用の推進

定住人口確保のための付加価値の高い土地利用を推進し、安全・安心で快適な生活環境の充実を図ります。

【主な取組】

- ① 定住人口を確保するための有効な土地利用方策の推進
- ② 防災インフラの整備(防災・減災対策)
- ③ JR和気駅周辺の整備
- ④ 公共交通の維持・充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
和気駅1日平均乗車人員数	人	1,125 (2023年(令和5年))	1,500
町営バス利用者数	人	27,191 (2024年(令和6年))	30,000



プロジェクト

防災のまちづくり ～緊急時の備え～

- 大規模な地震や異常気象による豪雨災害はいつ起きるかわからないため、日頃の備えが重要です。
- 本町では緊急時の対応を強化するため、消防や警察などが連携し、災害時を想定した訓練を実施しています。
- 今後も、訓練を実施し、防災機能強化を図るとともに、住民の防災に対する意識向上に向けた周知・啓発を促します。



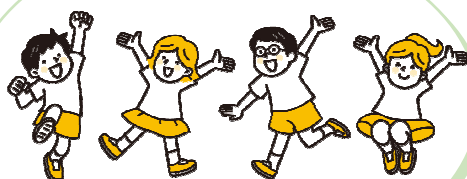
こども・若者・子育て世代が 希望を持ち、住み続けられる まちを創る

基本的方向

- 妊娠期から子育て期まで不安や不便を感じることなく子育てを楽しんで行えるよう、切れ目のない子育て支援の充実を図ります。本町を子育て世代から選ばれるまちにするため、地域社会全体で子育てをサポートする体制を構築し、子育てに対する不安を解消する環境づくりを行います。
- こどもたちが自らの将来の目標を持ち、必要なときに必要なサポートが得られるよう、学校教育の充実等に取り組むとともに、生まれ育った地域への理解を深めることでふるさとに対する愛着と誇りを育み、愛郷心に満ちた次代のまちづくりの担い手の育成を図ります。

【数値目標】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
合計特殊出生率	人	1.03 (2023年(令和5年))	1.80
出生者数	人	47	63



—— 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI) ——

(1) こども・家庭への切れ目のない支援の充実・地域連携による子育て支援の充実

妊娠期から子育て期まで、切れ目のない包括的な支援体制を提供します。また、安全・安心な環境下で、こどもたちが伸び伸びと成長し、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

【主な取組】

- ① 子育て家庭への支援の充実 ② こどもや子育て家庭への包括的な支援の体制整備と充実
③ こどもと保護者の健康の確保 ④ 地域における子育て支援の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
サポートプラン作成件数	件	0	15
こども連携支援会議開催回数	回	12	12
産後ママ安心ケア事業利用者数	人	45	50

(2) 学校教育の充実・魅力化、郷土愛の醸成

こどもの時から、郷土愛の醸成を図るとともに、地域の魅力を発信したり、他地域と交流したりする力を兼ね備えるなど、知・徳・体をバランスよく育みます。

【主な取組】

- ① 互いに切磋琢磨する環境づくり・人材づくり ② 現代の教育課題解決に向けた学校教育のあり方
③ 郷土愛の醸成 ④ 特色ある学校づくり

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
「外国の人と友達になつたり、外国のことについてもっと知つたりしてみたい」と回答した小学生及び中学生の割合	%	(小学生)76.0 (中学生)50.0	(小学生)80.0 (中学生)70.0
「将来の夢や目標をもっている」と回答した小6及び中3の割合	%	(小6)84.9 (中3)71.6	(小6)85.0 (中3)80.0
「自分にはよいところがある」と回答した小6及び中3の割合	%	(小6)89.1 (中3)89.2	(小6)85.0以上 (維持) (中3)85.0以上 (維持)
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した小6及び中3の割合	%	(小6)91.8 (中3)71.7	(小6)85.0以上 (維持) (中3)80.0

(3) 次世代を見据えた教育環境の充実

すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる環境を整備し、質の高い教育環境づくりのための人的支援により、情報化・国際化に対応した教育を推進します。

【主な取組】

- ① 教育関係施設の整備・充実 ② 教育環境の充実 ③ 教職員の就労環境の改善

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
教職員の月当たり時間外業務の状況(1か月平均)	時間/月	(小)22.9 (中)38.7 (2024年(令和6年))	(小)30.0以下(維持) (中)30.0以下
部活動の地域展開に係る地域に受け皿がある部活動数(中学校)	%	62.0 (10/16部活動)	100.0

(4) 生涯学習活動・スポーツの推進

若い世代から高齢者まで、だれもが自由な意思に基づき生涯を通じて学びを楽しみ、充実した暮らしを目指します。

【主な取組】

- ① 生涯学習施設の基盤整備 ② 生涯学習の体制構築 ③ 地域教育力の向上及び充実
④ 公営塾・オンライン英会話事業の充実 ⑤ 生涯スポーツの拡充
⑥ スポーツ活動の指導者の育成

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
社会教育施設利用者数 (中央公民館・サエスタ)	人	29,166 (2024年(令和6年))	37,000
図書館の貸出冊数	冊	71,626 (2024年(令和6年))	76,000
公営塾の利用割合 (利用者/対象者)	%	15.0 (2024年(令和6年))	35.0
社会体育施設利用者数 (体育館・グラウンド・B&G)	人	64,932 (2024年(令和6年))	70,000

(5) 歴史的文化資源の保存・活用

歴史や文化を次世代へと継承し、地域・郷土に愛着する心を醸成します。

【主な取組】

- ① 多様な鑑賞・体験の機会拡充
- ② 住民の創作・発表の機会充実
- ③ 和気清麻呂の顕彰及び町の歴史文化の継承

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
自主事業(ホール系)参加者数	人	1,267 (2024年(令和6年))	2,000
文化祭参加者数	人	1,100 (2024年(令和6年))	1,500
歴史民俗資料館利用者数	人	2,096 (2024年(令和6年))	3,000



プロジェクト



和気町への愛着づくり ～教育の充実～

- 本町では、将来の地域を担う子どもや若者が、学びや体験を通して地域への誇りと愛着を育める環境づくりを進めています。
- 現在取り組んでいる公営塾や英語特区などの教育支援の充実を図り、町の魅力や可能性を実感できる機会を創出することで、「和気町で育って良かった」「和気町に住み続けたい」と思える地域社会の形成を目指します。



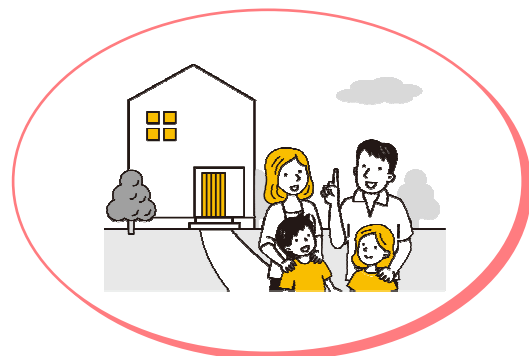
和気町に住みたい人・ 関わる人を増やす

基本的方向

- 若い世代の移住促進施策の充実・強化を進めるとともに、本町の地理的・地形的な安全性や、防災・生活安全に対する取組を首都圏等の都市部に積極的に発信します。
- 公営住宅や空き家などの住環境を整備し、移住定住促進施策により、定住人口の増加を促進させます。
- 本町の地方創生を一層強力に推進するための財源確保を図るため、様々なプロモーション活動により、まちの認知度を高め、ふるさと応援寄附金の拡充を図ります。

【数値目標】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
社会動態数(再掲)	人	▲17	50
出生者数(再掲)	人	47	63
和気町の若年人口数 (20~39歳)	人	1,970 (15.6%) (2024年(令和6年))	2,000 (16.7%)



—— 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI) ——

(1) 安心して暮らせる居住環境の形成

公営住宅や空き家などの有効活用を通じて良好な住環境を整備し、効果的な移住定住促進施策により、定住人口の増加を促進させます。

【主な取組】

- ① 分譲住宅地の整備
- ② 新規取得住宅の固定資産税減免等
- ③ 空き家の除却、有効活用
- ④ 住宅耐震化の促進
- ⑤ 新たな公園整備
- ⑥ 公園の適正な維持管理
- ⑦ 花と緑にあふれるまちづくり

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
分譲住宅地の整備区画数(累計)	区画	27	40
住宅リフォーム補助金利用件数(累計)	件	450	600
転入者数	人	427	500
空き家バンク成約割合	%	80.0	80.0(維持)
緑化事業補助金を活用した花木の苗木配布団体数	団体	1	13

(2) 地域資源を生かした観光の振興

魅力的な観光資源の発信や特産品の開発などを推進し、町内の観光消費の向上を目指します。また、農業や田舎文化など地域資源を生かした体験型プログラムにより交流人口の増加やリピーター、移住・定住にもつなげていきます。

【主な取組】

- ① 観光プログラムの創出
- ② 観光の情報発信
- ③ 広域連携による外国人観光客の誘客
- ④ スポーツによる交流の活性化
- ⑤ 産業振興施設の整備

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
和気町の観光入込客数(県へ報告しているデータ)	人	286,022 (2024年(令和6年))	340,000

(3) ふるさと応援寄附金の推進

魅力的な返礼品を充実させ、個人や企業からのふるさと納税の増加を目指すとともに、地場産業を活性化させ、町の自主財源の確保を図ります。

【主な取組】

- ① 魅力的な返礼品の提供
- ② 企業版ふるさと納税の新規開拓

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
企業版ふるさと納税寄附金額	千円	7,100 (2024年(令和6年))	10,000
ふるさと納税寄附金額	千円	293,000 (2023年(令和5年))	313,000

(4) 若者と女性に選ばれる地域とシティプロモーションの推進

本町の“知りたい”情報や“伝えたい”情報をホームページ・SNS等で効果的に発信します。また、子育て環境の充実や安全・安心に住み続けられるまちづくりを進め、子育て世代の定住人口の増加を促進させます。

【主な取組】

- ① 若者の定住・Uターン促進対策
- ② 相談支援体制の充実強化
- ③ シビックプライドの醸成
- ④ 関係人口の創出・拡大
- ⑤ 和気閑谷高等学校魅力化事業の推進
- ⑥ 町内外に向けたシティプロモーション
- ⑦ 広報活動の充実
- ⑧ 町政情報等の発信
- ⑨ SNSによる情報発信の充実

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
和気町の若年人口数 (20～39歳)	人	1,970 (15.6%) (2024年(令和6年))	2,000 (16.7%)
社会動態数(再掲)	人	▲17	50
転入者数(再掲)	人	427	500
和気閑谷高等学校出願者数	人	103	120
和気町ファンクラブ会員数	人	2,000	4,000
和気町ファンクラブ公式 LINE 登録者数	人	3,149	5,000
メディア掲載件数	件	20	50



プロジェクト



和気駅周辺の活性化 ～若者の定住・関係人口の創出へ～

- 都会に出た若者がいつか帰ってきたいと思うまちづくりを進めるため、和気駅前に若者が滞留する場をつくり若者が主役となるまちづくりの拠点を創出します。
- 具体的には、周辺市街地との回遊性を向上させることで、駅前エリア全体の活性化につなげます。コンパクトシティの概念をより一層推進し、公共交通との連携を強化することで効率的で持続可能な都市構造を目指します。





「つくる暮らし」を応援する まちを創る

—— 基本的方向 ——

- 交通の利便性や災害リスクの低さといった強みを生かし、企業誘致や雇用の創出に取り組めます。
- 住民の「つくる」意欲を応援します。酒造りや料理、作品づくり、農業、ものづくり、サービス開発など、様々な挑戦を支え、起業支援や農林業の成長産業化を進めます。
- 農業では、高付加価値作物の推進など地域の特性を生かし、担い手や新規就農者の確保を図ります。

【数値目標】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
企業立地件数 (2021年(令和3年)からの累計)	件	2	6
町・商工会の支援による起業件数 (2024年(令和6年)からの累計)	件	20 (2024年(令和6年))	33
認定農業者数	経営体	34	39



—— 具体的な施策と重要業績評価指標(KPI) ——

(1) 農林業の振興(成長産業化支援、次世代の担い手確保)

農業への関心を高め、新たな担い手を確保し、安定的で持続可能な農業経営を進めます。また、森林の計画的伐採により災害に強い森林の形成を目指します。

【主な取組】

- ① 地域農業の担い手、新規就農者の育成 ② もうかる農業への転換
③ 耕作放棄地の解消 ④ 鳥獣害対策の推進 ⑤ 災害に強い森林形成 ⑥ 林業の振興

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
認定農業者数	経営体	34	39
耕作放棄地面積	ha	63 (2024年(令和6年))	60
有機農業作付面積	ha	2.46 (2024年(令和6年))	11.00
森林経営計画策定面積	ha	226 (2024年(令和6年))	300

(2) 起業支援・中小企業の振興・企業立地の推進

若者や移住者の起業を支援し、地域産業の活性化を図ります。また、新しい技術やサービスで新ビジネスに挑戦する中小企業・小規模事業者を支援し、地域経済を発展させます。さらに、新たな企業立地を進め、地域に安定的な雇用を創出します。

【主な取組】

- ① 起業支援 ② 魅力のある就労環境の整備 ③ 商工会の支援と連携
④ 商工業者への支援 ⑤ 特産品の開発、販売促進
⑥ 未来技術活用による地域産業の活性化支援 ⑦ 企業誘致の推進
⑧ 企業用地の確保 ⑨ 従業員確保の支援

【重要業績評価指標(KPI)】

指標名	単位	現状値	目標値 2030年(令和12年)
町・商工会の支援による起業件数 (2024年(令和6年)からの累計)	件	20 (2024年(令和6年))	33
企業立地件数 (2021年(令和3年)からの累計)	件	2	6
和気商工会会員数	者	385	390



プロジェクト



魅力ある農業の実現へ ～オーガニックビレッジ～

- 本町では、農家の高齢化、後継者不足とともに、資材高騰による収益低下に加え、鳥獣による農作物被害の増加等によって営農意欲の低下、遊休農地の拡大などの問題に直面しています。
- このような問題に対し、農業が持続的で活力ある営みとして、小規模でも付加価値が高く経済的に持続可能な農業を目指すため、「有機農業の普及、拡大」を重点施策の一つとして位置づけています。
- 「オーガニックビレッジ宣言」に基づき、協議会や検討会と協力し、「和気町有機農業実施計画」による取組を実践するとともに、持続可能な農業(有機農業等)を地域ぐるみで実施しています。





VI

資料編

1 設置要綱

○和気町まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定等に関して、様々な立場の有識者から意見を求めるため、和気町まち・ひと・しごと創生有識者会議(以下「会議」という。)を設置する。

(構成等)

第2条 会議は、町長が委嘱する委員で構成する。

2 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は再任することができる。

(運営)

第3条 会議は、町長が招集する。

(所掌事項)

第4条 会議において、委員は次に掲げる事項について検討し、意見を述べる。

(1)本町人口の将来展望に関すること。

(2)和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること。

(3)その他、必要な事項に関すること。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、総務部まち経営課において処理する。

(その他)

第6条 この告示に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

附 則

この告示は、平成 28 年4月 25 日から施行する。

2 委員会名簿

※順不同

	区分	氏名	所属等
1	産業	川上 健二	和気商工会 会長
2		坪本 康弘	晴れの国岡山農業協同組合 和気支店 支店長
3		山崎 隆志	(株)山博 代表取締役 会長
4		延藤 美智子	(社福)藤の里 理事長
5		平岡 孝道	(株)メイト 総務部長
6	教育	三好 宏	岡山商科大学 産学官連携センター センター長
7		小川 正人	環太平洋大学 教授(経済経営学部現代経営学科)
8		岩淵 泰	岡山大学 研究・イノベーション共創機構 准教授
9		赤松 一樹	和気閑谷高等学校 校長
10	金融	近藤 桂司	中国銀行 和気支店 支店長
11	労働	赤枝 知雄	和気公共職業安定所 所長
12	報道	仁科 寿美	和気町報道委員会 委員
13	住民等	藤原 哲正	区長協議会 会長
14		畠中 珠子	審議会公募委員
15		中村 和馬	審議会公募委員
16		小森 国彦	審議会公募委員
※オブザーバー		堂本 竜也	岡山県備前県民局 地域づくり推進課 課長

3 KPIの算定式等

指標名	時点	現状値	目標値 2030年 (令和12年)	算定式	出典・定義など
戦略目標1 安全・安心でのびのびと心豊かに暮らせるまちを創る					
施策1. 住民のいのちと暮らしを守る非常時危機管理体制の充実・防疫体制の充実強化					
非常時危機管理訓練 開催回数	2025年 (令和7年)	1回	1回	訓練開催実績	
施策2. 防災・減災対策の強化					
防災訓練への参加世帯 の割合	2025年 (令和7年)	19.0%	25.0%	参加世帯／住民基 本台帳世帯	和気町地域防災 計画
自主防災組織防災訓練 開催地区数	2025年 (令和7年)	0地区	10地区	訓練開催実績	和気町地域防災 計画
地区防災計画整備地区数	2025年 (令和7年)	1地区	10地区	計画整備地区数	和気町地域防災 計画
施策3. 防犯・交通安全対策の推進					
刑法犯認知件数	2024年 (令和6年)	25件	20件	刑法犯認知件数	備前警察署より
交通事故発生件数 (人身、死亡)	2024年 (令和6年)	15件	10件	交通事故発生件数	備前警察署より
施策4. 暮らしを守る消費者保護対策の充実					
消費に関わる出前講座 の開催回数	2025年 (令和7年)	1回	1回	消費問題研究会等 における開催回数	
施策5. 暮らしの安全を支える消防・救急体制の充実					
消防団員数 (条例定数700人)	2025年 (令和7年)	581人	600人	消防団員数	和気町消防団条 例
火災発生件数	2025年 (令和7年)	23件	0件	火災発生件数	東備消防組合消 防本部総合計画
施策6. 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進					
特定健診受診率	2025年 (令和7年)	41.0%	47.0%	受診者数／対象者数	和気町国民健康 保険特定健康診 査等実施計画
特定健診受診者中の BMI25以上の者の 割合	2025年 (令和7年)	町男性 31.8% 県男性 33.8% 町女性 27.8% 県女性 21.9%	県平均と同 等もしくは 県平均以下	KDBシステム 様式5-2健診有 所見者状況(男女別・ 年代別)2024年度 (令和6年度)令和 7.4時点	和気町健康づく り推進計画
高齢者で自身が健康と 感じている人の割合 (3年ごとの調査)	2025年 (令和7年)	78.6%	83.0%	アンケート調査結果	和気町高齢者保 健福祉計画・介 護保険事業計画
施策7. 介護予防・介護サービスの充実					
和気町と全国平均の 要介護認定率比較	2025年 (令和7年)	▲3.0%	▲3.5%	和気町－全国の認 定率	和気町高齢者保 健福祉計画・介 護保険事業計画
高齢者で自身が健康と 感じている人の割合 (3年ごとの調査)(再掲)	2025年 (令和7年)	78.6%	83.0%	アンケート調査結果	和気町高齢者保 健福祉計画・介 護保険事業計画

指標名	時点	現状値	目標値 2030年 (令和12年)	算定式	出典・定義など
施策8. 多様な担い手による協働のまちづくりの推進					
協働のまちづくり提案 事業応募件数 (若者枠拡充)	2024年 (令和6年)	2件	6件	協働のまちづくり提 案事業応募件数	
ボランティア活動参加 人数 (行政関係:保険対象者)	2025年 (令和7年)	1,500人	2,000人	まちづくり協議会参 加者数+藤まつり、 和文字焼きまつり (薪組、当日)ボラン ティア数	
施策9. 安全・安心な道路環境の維持・整備とインフラの長寿命化					
町道整備事業の改良率	2024年 (令和6年)	41.6%	42.0%	道路改良済み延長 /道路総延長	
急傾斜地対策工事実施 箇所数(県営事業)(累計)	2025年 (令和7年)	1箇所	2箇所	急傾斜地対策工事 実施箇所数	
ため池全面改修工事 実施箇所数(累計)	2025年 (令和7年)	3箇所	5箇所	ため池改修工事 実施箇所数	
施策10. 適正で合理的な土地利用の推進					
和気駅1日平均乗車 人員数	2023年 (令和5年)	1,125人	1,500人	和気駅1日平均乗車 人員数	和気町地域公共 交通計画
町営バス利用者数	2024年 (令和6年)	27,191人	30,000人	町営バス利用者数	和気町地域公共 交通計画
戦略目標2 こども・若者・子育て世代が希望を持ち、住み続けられるまちを創る					
施策1. こども・家庭への切れ目のない支援の充実・地域連携による子育て支援の充実					
サポートプラン作成 件数	2025年 (令和7年)	0件	15件	すべての妊産婦や 子育て家庭に必要な マネジメントの確 立を目的に、作成件 数を報告	和気町こども計画
こども連携支援会議 開催回数	2025年 (令和7年)	12回	12回	子育て親子に必要な 支援を届けるための 連携を目的に、開催 回数を報告	和気町こども計画
産後ママ安心ケア事業 利用者数	2025年 (令和7年)	45人	50人	産前産後のメンタル ヘルス維持を目的 に、事業利用者実数 を報告	和気町こども計画
施策2. 学校教育の充実・魅力化、郷土愛の醸成					
「外国の人と友達になっ たり、外国のことについ てもっと知ったりして みたい」と回答した小学 生及び中学生の割合	2025年 (令和7年)	(小学生) 76.0% (中学生) 50.0%	(小学生) 80.0% (中学生) 70.0%	町アンケート調査結果	
「将来の夢や目標をもっ ている」と回答した小6 及び中3の割合	2025年 (令和7年)	(小6) 84.9% (中3) 71.6%	(小6) 85.0% (中3) 80.0%	全国アンケート調査 結果	
「自分にはよいところがある」と回答した小6 及び中3の割合	2025年 (令和7年)	(小6) 89.1% (中3) 89.2%	(小6) 85.0% 以上(維持) (中3) 85.0% 以上(維持)	全国アンケート調査 結果	

指標名	時点	現状値	目標値 2030年 (令和12年)	算定式	出典・定義など
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した小6及び中3の割合	2025年 (令和7年)	(小6) 91.8% (中3) 71.7%	(小6) 85.0%以上 (維持) (中3) 80.0%	全国アンケート調査結果	
施策3. 次世代を見据えた教育環境の充実					
教職員の月当たり時間外業務の状況(1か月平均)	2024年 (令和6年)	(小) 22.9 時間/月 (中) 38.7 時間/月	(小) 30.0時間/月 以下(維持) (中) 30.0時間/月 以下	出退勤システムによる調査結果	和気町教育大綱
部活動の地域展開に係る地域に受け皿がある部活動数(中学校)	2025年 (令和7年)	62.0% (10/16部活動)	100.0%	受け皿のある部活動数/全部活動数	
施策4. 生涯学習活動・スポーツの推進					
社会教育施設利用者数(中央公民館・サエスタ)	2024年 (令和6年)	29,166人	37,000人	中央公民館、サエスタ利用者数	
図書館の貸出冊数	2024年 (令和6年)	71,626冊	76,000冊	図書館の貸出冊数	
公営塾の利用割合(利用者/対象者)	2024年 (令和6年)	15.0%	35.0%	利用者/対象者	
社会体育施設利用者数(体育館・グラウンド・B&G)	2024年 (令和6年)	64,932人	70,000人	体育館+グラウンド+B&G利用者数	
施策5. 歴史的文化資源の保存・活用					
自主事業(ホール系)参加者数	2024年 (令和6年)	1,267人	2,000人	自主事業参加者数	
文化祭参加者数	2024年 (令和6年)	1,100人	1,500人	文化祭参加者数	
歴史民俗資料館利用者数	2024年 (令和6年)	2,096人	3,000人	歴史民俗資料館利用者数	

指標名	時点	現状値	目標値 2030年 (令和12年)	算定式	出典・定義など
戦略目標3 和気町に住みたい人・関わる人を増やす					
施策1. 安心して暮らせる居住環境の形成					
分譲住宅地の整備区画数 (累計)	2025年 (令和7年)	27区画	40区画	整備された分譲住宅地の区画数	
住宅リフォーム補助金 利用件数(累計)	2025年 (令和7年)	450件	600件	住宅リフォーム補助金の利用件数	和気町住宅リフォーム補助金交付要綱
転入者数	2025年 (令和7年)	427人	500人	住民基本台帳 (1月～12月)	
空き家バンク成約割合	2025年 (令和7年)	80.0%	80.0% (維持)	空き家バンク成約数 /空き家バンクに登録された空き家の 総数(前年までの残数+当年登録数)	
緑化事業補助金を活用 した花木の苗木配布 団体数	2025年 (令和7年)	1団体	13団体	緑化事業補助金を活用した花木の苗木配布団体数	
施策2. 地域資源を生かした観光の振興					
和気町の観光入込客数 (県へ報告している データ)	2024年 (令和6年)	286,022人	340,000人	温泉利用者、藤まつり来場者等(1月～12月)	和気町観光客動態調査報告書
施策3. ふるさと応援寄附金の推進					
企業版ふるさと納税 寄附金額	2024年 (令和6年)	7,100千円	10,000千円	企業版ふるさと納税 寄附金額	
ふるさと納税 寄附金額	2023年 (令和5年)	293,000千円	313,000千円	ふるさと納税 寄附金額	
施策4. 若者と女性に選ばれる地域とシティプロモーションの推進					
和気町の若年人口数 (20～39歳)	2024年 (令和6年)	1,970人 (15.6%)	2,000人 (16.7%)	住民基本台帳 (1月～12月)	
社会動態数(再掲)	2025年 (令和7年)	▲17人	50人	住民基本台帳 (1月～12月)	
転入者数(再掲)	2025年 (令和7年)	427人	500人	住民基本台帳 (1月～12月)	
和気閑谷高等学校 出願者数	2025年 (令和7年)	103人	120人	特別入試・1次募集・ 2次募集	
和気町ファンクラブ 会員数	2025年 (令和7年)	2,000人	4,000人	和気町ファンクラブ 会員数の推移	
和気町ファンクラブ 公式LINE登録者数	2025年 (令和7年)	3,149人	5,000人	和気町ファンクラブ 公式LINE登録者数	
メディア掲載件数	2025年 (令和7年)	20件	50件	新聞、雑誌等への掲載件数	

指標名	時点	現状値	目標値 2030年 (令和12年)	算定式	出典・定義など
戦略目標4 「つくる暮らし」を応援するまちを創る					
施策1. 農林業の振興(成長産業化支援、次世代の担い手確保)					
認定農業者数	2025年 (令和7年)	34経営体	39経営体	当年に登録されている認定農業者の数	
耕作放棄地面積	2024年 (令和6年)	63ha	60ha	耕作放棄地面積	
有機農業作付面積	2024年 (令和6年)	2.46ha	11.00ha	有機農業作付面積	
森林経営計画策定面積	2024年 (令和6年)	226ha	300ha	森林経営計画策定面積	
施策2. 起業支援・中小企業の振興・企業立地の推進					
町・商工会の支援による 起業件数 (2024年(令和6年)からの累計)	2024年 (令和6年)	20件	33件	町・商工会の支援による起業件数 (2024年(令和6年)からの累計)	
企業立地件数 (2021年(令和3年)からの累計)	2025年 (令和7年)	2件	6件	企業立地件数(累計)	
和気商工会会員数	2025年 (令和7年)	385者	390者	当年に登録されている和気商工会会員数	

4 総合計画との整合表

総合計画				総合戦略				
分野	基本目標	基本政策	分野別施策	戦略目標1 安全・安心でのびのびと心豊かに暮らし、住み続けられるまちを創る	戦略目標2 子ども・若者・子育て世代が希望を持ち、住み続けられるまちを創る	戦略目標3 和気町に住みたい人・関わる人を増やす	戦略目標4 「つくる暮らし」を応援するまちを創る	
暮らし安全・環境	1 安全・安心でやすらぎを実感できるまち	1 災害や感染症等に備え、いのちを守る	施策1. 住民のいのちと暮らしを守る非常時危機管理体制の充実・防疫体制の充実強化	●				
		2 穏やかな暮らしを守る安全・安心な生活環境を整える	施策1. 防犯・交通安全対策の推進	●				
			施策2. 暮らしを守る消費者保護対策の充実	●				
			施策3. 暮らしの安全を支える消防・救急体制の充実	●				
		3 地球に配慮した環境にやさしいまちを創る	施策1. 多様な生物を育む自然環境の保全					
			施策2. 地球温暖化対策の推進と再生可能エネルギーの活用					
施策3. ごみの減量と資源化の推進								
教育・文化	2 変化の時代を生き抜く力を育み、ともに学び続けるまち	1 子どもたちが、夢や目標を実現するための知識や経験を得られるようにする	施策1. 学校教育の充実・魅力化、郷土愛の醸成		●			
		2 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにする	施策2. 次世代を見据えた教育環境の充実		●			
			施策1. 生涯学習活動・スポーツの推進		●			
		3 歴史的文化資源や文化を生かした品格(魅力)あるまちを創る	施策1. 歴史的文化資源の保存・活用		●			
子育て・保健・福祉	3 だれもが健康ではつらつと暮らせるまち	1 すべての住民の健康保持・増進を全力でサポートする	施策1. 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進	●				
		2 安心して子どもを産み、健やかに育てることができるようにする	施策2. 介護予防・介護サービスの充実	●				
			施策1. 子ども・家庭への切れ目のない支援の充実・地域連携による子育て支援の充実		●			
		3 高齢になっても住み慣れた場所で安心して暮らせるようにする	施策1. 安心して暮らし続けられる高齢者等への支援の充実					
			施策2. 障がいや生きづらさを抱える人への支援の充実					
			施策3. 生活困窮者等への支援の充実					
		施策4. 安心して暮らし続けるための地域医療の維持・充実						
施策5. きめ細かな地域福祉の充実								
人権・協働	4 認め合い、支え合い、笑顔あふれる共生のまち	1 一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会を創る	施策1. 人権啓発の推進					
		2 様々な場所や場面で女性が活躍できる社会を実現する	施策1. 男女共同参画の推進					
		3 すべての住民が、まちや人とつながり、その人らしく活躍できるようにする	施策1. 多様な担い手による協働のまちづくりの推進	●				
都市・生活基盤	5 美しい自然と調和した快適で豊かなまち	1 だれもが住みたいと思う魅力のあるまちを創る	施策1. 安心して暮らせる居住環境の形成			●		
		2 安全で快適な生活基盤を整える	施策1. 安全・安心な道路環境の維持・整備とインフラの長寿命化	●				
			施策2. 適正で合理的な土地利用の推進	●				
施策3. 安全で安定した上下水道サービスの提供								
産業振興・交流	6 交流が生まれ、活気に満ちたまち	1 個性を生かし、能力を発揮して生涯活躍できる環境を創る	施策1. 農林業の振興(成長産業化支援、次世代の担い手確保)				●	
		施策2. 起業支援・中小企業の振興・企業立地の推進					●	
2 交流により、人が集いにぎわうまちを創る	施策1. 地域資源を生かした観光の振興			●				
	7 人口減少社会に対応した、効率的で持続可能な行財政運営	1 住民に開かれた健全で持続可能な行財政運営を行う	施策1. 健全で持続可能な行財政運営の推進					
2 人口構成のバランスを改善し、持続可能な活気あふれるまちを創る		施策2. ふるさと応援寄附金の推進			●			
施策1. 若者と女性に選ばれる地域とシティプロモーションの推進				●				

和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略

2026年(令和8年)3月

〒709-0495 岡山県和気郡和気町尺所555番地

和気町役場 まち経営課

制作:株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所



和気町